

平成22年度 腎臓内科、リウマチ・膠原病内科後期研修プログラム

1. プログラムの目標

研修カリキュラムにのっとり、腎臓専門医・透析専門医・リウマチ専門医として必要とされる知識、技能、診療能力を習得する。

2. 指導スタッフ

- ・山田 裕治（日本内科学会専門医、日本腎臓学会専門医、日本透析医学会専門医、）
- ・大鐘 邦裕
- ・谷 悠紀子

3. プログラムへの参加資格

2年間の初期臨床研修後1年間の一般内科研修を終了し、内科認定医試験を受験予定である者。またはすでに内科認定医資格を有する者。

4. プログラムの修了年限

- ・本プログラムの修了年数は3年間とする。希望により、2年間までの延長が可能である。
- ・修了後、研修中の診療態度等を参考に当院の腎臓内科、リウマチ・膠原病内科医として就職する事が可能である。また金沢大学腎臓内科、リウマチ・膠原病内科、大学院等での臨床研究・基礎研究に従事することも推奨する。

5. 研修カリキュラム

- ・日本内科学会認定制度研修カリキュラム、日本腎臓学会腎臓専門医研修カリキュラム、日本透析医学会透析専門医研修カリキュラム、日本リウマチ学会リウマチ専門医研修カリキュラムに基づいて行う。
- ・常時10名程度の患者を主治医として担当する。
- ・剖検例を年1例以上担当する。
- ・受け持ち患者に対する個人指導、ならびに腎臓病教室における講義を通して患者指導の方法を習得する。
- ・日本腎臓学会、日本透析医学会、日本リウマチ学会、日本内科学会等において学会発表を年1回以上行なう。
- ・学会発表した内容を、論文にまとめる。
- ・週1回のカンファレンスで、症例検討と海外文献の抄読を行なう。
- ・月1回の富山市・高岡市の腎臓内科医、リウマチ・膠原病内科医との合同勉強会で、症例検討と海外文献の抄読を行なう。